

琉球大学「女性研究者エンパワーメントプロジェクト」

【男女共同参画推進体制とこれまでの取組】

琉球大学は、平成24年度科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業」に採択され、「女性研究者エンパワーメントプロジェクト」を構築し、女性研究者比率の上昇、ワーク・ライフ・バランス支援のための全学的な取組を実施しているところである。

これまでの本学における男女共同参画推進の取組として、平成22年に「男女共同参画室」を設置し、その後平成23年に「男女共同参画宣言及び基本方針」を制定した。これらの基本方針等を踏まえて、平成24年に「琉球大学における男女共同参画推進について～アクションプラン～」を策定し、平成24年度から平成27年度までの行動計画を全学に向けて発信した。

【女性研究者エンパワーメントプロジェクトの概要】

1. 達成目標

本事業では、補助事業が終了する平成26年度末までに女性研究者の在職比率を16%とすること、女性研究者採用割合を25%以上にし、女性研究者を18人以上採用することを目標としている。特に女性研究者の在職比率が低い自然科学系の学部に対しては、平成26年度末までに在職比率が3%～10%となるよう、一層の女性研究者支援・男女共同参画推進を働きかけている。

2. 平成24～26年度の取組

(1) 女性研究者に対する支援・相談体制及びメンター制度の確立

- ・女性研究者の職業と家庭生活の両立にかかわる支援・相談窓口として、男女共同参画室の下に、「うない研究者支援センター」を設置した。
- ・若手女性研究者のキャリア形成とその継続を支援するために、必要に応じて研究の助言が可能な研究者をメンターとして委嘱した。

(2) 研究活動を支援するための研究補助員配置制度と「ゆいネットワーク」の構築

出産・育児又は介護等に携わる研究者に対し、研究補助員を配置して、研究時間を確保し研究活動が活性化できるよう支援体制を整備した(本制度利用研究者数 平成24年度延べ19名、平成25年度延べ48名、平成26年度延べ44名)。

(3) 柔軟な勤務体制の確立

- ・全教員を対象に、男女共同参画推進や柔軟な勤務体制の導入に関するアンケート調査を実施した。
- ・ライフイベント時に利用できる既存の各種制度や大学近隣の子育て情報等の周知を目的として、「育児・介護等支援ガイドブック」と「子育てガイドブック」(日本語版ならびに英語版)を発行した。

(4) 男女共同参画意識の啓発及び広報の強化

- ・部局長等を対象に、男女共同参画推進に関する意識啓発を目的としたトップセミナーを開催した。
- ・本学に所属する女性教員や地域で活躍する女性リーダーによるオムニバス形式の共通教育科目「キャリアデザインとジェンダー」を平成26年度前期に開講し、58名の学生が受講した。
- ・本事業の取組み紹介や各種制度の周知等を目的としたニューズレター、女性研究者を紹介するフロントランナー集を刊行し、全教員への配布ならびに全職員への供覧を徹底した。
- ・国立女性教育会館の図書パッケージサービスを利用し、教職員および学生の意識啓発を目的とした「生き方の多様性を応援する“うない文庫”」を附属図書館に常設した。

(5) 女性研究者の積極的採用のためのポジティブアクションの導入

- ・公募により女性研究者を採用した部局等へインセンティブ経費を配分し、女性研究者の研究活動の環境整備を図った。
- ・女性研究者の積極的採用にむけて、全ての教員公募文書に男女共同参画にかかわる文言を記載している。さらに、ライフイベントによる研究中断について配慮できるよう選考内規を改定した。
- ・特に女性研究者比率の低い自然科学系分野の学部においては、教員公募時に女性研究者の本学への積極的な応募を促す内容の広告(告知)を関連分野の学会誌等へ掲載した。

【連絡先】 琉球大学 うない研究者支援センター

TEL: 098-895-8675 FAX: 098-895-8732 E-mail: gender@to.jim.u-ryukyu.ac.jp

URL: <http://www.gender.jim.u-ryukyu.ac.jp/unai/>

琉球大学 女性研究者エンパワーメントプロジェクト

琉球大学の全教職員や学生がワーク・ライフ・バランスをとることのできる社会づくりを目指します。

✿環境整備

女性研究者が仕事と生活を両立できるよう、相談体制や支援制度の整備に取り組みます。

- 研究補助員配置制度
- 相談・メンター制度
- 英文校閲費用助成
- 国際学会派遣費用助成
- 柔軟な勤務体制の確立
- 夏休み学童保育
- ゆいカフェ(女性研究者のネットワーク構築)



夏休み学童保育

【研究補助員配置制度とは】

出産・育児または介護等に携わる女性研究者や配偶者が研究者である男性研究者に対し、研究活動を支援するために研究補助員を配置する制度です。

研究補助員配置制度利用者数

	平成26年度(5～9月)	
性別	育児	介護・看護
男性	5	0
女性	11	6
小計	16	6
総計	22名	



研究者と研究補助員

✿意識啓発

シンポジウムや様々な情報発信を通して意識啓発を行い、男女共同参画の推進を目指します。

- 部局管理職を対象としたトップセミナーの開催
- 公開フォーラムや講演会の開催
- 部局長との意見交換会・ヒアリング
- うない文庫の常設(附属図書館)
- 地域社会との連携(女性研究者による出前教室)
- 学長と女性研究者との懇談会
- 共通教育科目「キャリアデザインとジェンダー」開講



男女共同参画トップセミナー



学長と女性研究者との懇談会



「キャリアデザインとジェンダー」



女性研究者による出前教室(国頭村)

✿女性研究者の裾野拡大

研究者を目指す学生のキャリア形成を支援し、女性研究者の裾野拡大に取り組みます。

- スキルアップ・キャリアデザインセミナーの開催
- フロントランナー集の発行
- オープンキャンパス



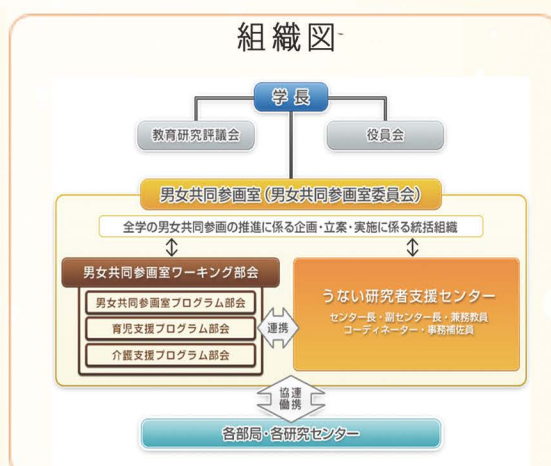
スキルアップセミナー



キャリアデザインセミナー

✿今後の目標

平成27年度までに、女性教員の在職比率を17%に上昇させること、新規採用増を目指します。



国立大学法人 琉球大学 うない研究者支援センター

University of the Ryukyus
Unai Center for Researcher Support and Development

Tel 098-895-8675 Mail gender@to.jim.u-ryukyu.ac.jp Fax 098-895-8732 URL <http://www.gender.jim.u-ryukyu.ac.jp/unai/>